

事務事業評価における総括

部 局 名	こども育成部	記入責任者	高木 邦喜
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>こども育成部の政策的事業は 39 事業あり、S 評価が 26 事業、A 評価が 11 事業、B 評価が 1 事業、Z 評価が 1 事業と多くの事業で指標を達成し、成果をあげることができました。今後につきましても、より充実した子育て施策の遂行を目指し、着実に業務を行っていきます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>子育てに関わるニーズの把握に努め、環境整備に努めてきた結果、未実施となった 1 事業を除き、全ての事業で指標を達成し、成果を上げることができました。</p> <p>なお、家庭児童相談事業、療育相談事業といった指標の達成率のみでは評価が難しい相談業務については、複雑・多様化する相談に対し、専門性を有する非常勤嘱託員が適切に支援に当たっていることから、成果に繋がっていると評価しています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>本市で安心して子育てができるための環境整備のために、今後も様々な施策を展開してまいります。</p> <p>小児医療費助成事業につきましては、小児の健全な育成と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るために、令和元年 10 月から通院助成対象を小学 6 年生までから中学 3 年生まで拡大いたします。</p> <p>平成 30 年度に設置した「子ども家庭総合支援拠点」と保健所の母子保健担当課、子育て世代包括支援センターとの連携の強化を図り、児童虐待の早期発見と未然防止に努めてまいります。</p> <p>保育所等の待機児童については年々減少しており、早期の待機児童解消に向けて、幼児教育・保育の無償化の影響等も踏まえながら、引き続き保育所等の整備や保育士の確保対策について取り組みを進めていきます。また、児童クラブについても、待機児童が年々増えていることから、「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」に基づき、対策に取り組んでまいります。</p> <p>指標を達成し、成果をあげた事業等については継続して取組を進めていくほか、子育てに関する様々なニーズを把握し、「茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」をもとに、安心して子どもを育てられ、その子どもたちの成長を家庭で、地域で、みんなで支えていくための環境整備に努めてまいります。</p>			